

市立農業経営者育成学校「SEADS（シーズ）」は、農業の担い手を育成する施設として令和2年4月に開校しました。SEADSニュースでは、研修生の研修の様子や取り組みなどを紹介してまいります。

農業士のみなさんと交流しました

6月18日（金）、鶴岡田川農業士会（事務局：庄内総合支庁農業技術普及課）に所属する農業士8名が来校され、SEADS研修生との意見交換を行いました。

「農業士」とは、県が認定するもので、地域で新規就農者の育成・指導に取り組む農業者の皆さんです。

研修生からは、経営品目の選定や農機の確保、資金繰りなどについて質問が出され、農業士の方々からご自身の経験などを踏まえた的確なアドバイスを頂くなど貴重な機会となりました。

今後とも研修生の就農に向け、地域農業者との交流・情報交換を行っていきます。



パイプハウスの設置作業を体験しました



6月26日（土）と7月3日（土）、実践的なカリキュラムの一環として、中古資材によるパイプハウスの組み立て作業を行いました。

中古ハウスの組み立てに精通した地元農業者等から指導・協力を頂き、ノウハウや組み立て方法のほか、ハウスの構造についても理解を深めることができました。

研修生からは「水平の取り方など、高い機材を使わずにできる現実的な手法でとても参考になった」などの声もあり、就農に向けて良い経験となりました。

完成したパイプハウスは、施設野菜栽培の自習用ハウスとしての活用を予定しています。

市有機協主催のほ場巡回に参加しました

6月28日（月）、1年生が実習先としてお世話になっている鶴岡市有機農業推進協議会のほ場巡回に参加しました。様々な雑草抑制法（紙マルチ、除草機、チェーン、マガモ放飼など）について、5か所の現場で学ぶことができました。

実践者からは「水稻有機栽培では、よりきめこまかな管理が必要となるが、興味を持って取り組むとその作業や観察が“楽しさ”になる」との助言・励ましを受けました。

